



牛丼もカレーも330円

「牛丼新時代」の主力コンビが新価格で登場

株式会社ゼンショー(代表取締役社長:小川賢太郎 本社:東京都港区)が展開する郊外型ファミリー牛丼店「すき家」ではこの春より、主力商品である牛丼とカレーを、日本一の店舗数を擁する牛丼チェーンにふさわしい味と価格でご提供します。

4月23日より、主力の牛丼(並盛、旧350円)およびカレー(並盛、旧380円)を330円でご提供します。牛丼は安全・安心牛肉100%で美味しさはそのまま、カレーはカルダモンスパイスの採用で本来の旨味であるスパイシーさを全面に押し出した、スッキリ味の新しいルーでお届けします。

これにともない、長くご愛顧いただいていた豚丼(並盛300円)の販売を休止します。豚丼は2004年2月、牛丼販売中止の際に販売を開始、牛丼の代替商品として多くのお客様から温かいご支持をいただき、同年9月の新牛丼発売後も名脇役として長くご愛顧いただきました。

「すき家」では、店舗数日本一となって「牛丼新時代」と位置づける今年、牛丼チェーンとしての基本に立ち返るため、歴史的な役割をまっとうした豚丼の販売を休止することで店舗オペレーションのいっそうの効率化をはかります。今後、主力の牛丼とカレーをより美味しくお求めやすい価格でご提供することを軸に、さらに多くのお客様にご満足いただけるお店作りを展開してまいります。



●すき家の店舗数: 1,214店(4月15日現在)

<http://www.zensho.com/>

以上